

メビウス∞レポート



特定非営利活動法人メビウス千葉 活動報告 令和3年10～12月号（1月8日発行）

メビウス会員の皆様、並びに寮生のご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈りするとともに、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願います。

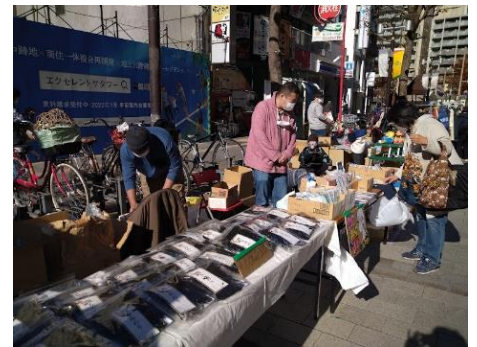
旧年中はメビウス千葉の諸活動に対する多大なるご支援・ご理解を賜り誠にありがとうございます。

本年も引き続きご支援・ご指導を賜りますよう、何卒、宜しくお願い致します。

2つのイベントに参加してきました。

1. いい街千葉フリーマーケット

前回の7月25日（日）に引き続き、11月28日（日）いい街千葉フリーマーケットに参加しました。8月・9月は緊急事態宣言のためイベントが中止、10月は雨天のため中止となり、久しぶりの開催とあって出店数も多く、会場はにぎわっていました。晴天に恵まれましたが、風が冷たく寮生たちは協力して休憩を取りながら参加しました。



今回は1ブースでしたが、今回は初めて2ブース申し込み、海苔とマスク・ストラップ、寄付された食器類などの不用品を販売しました。通常200円から400円で販売している海苔を100円で販売したため、開始1時間ほどで用意した海苔163袋が完売しました。マスク・ストラップは約1500本中52本が売れました。少し寂しい結果となりましたが、お客さんとのやり取りの中でどのような製品が好まれるかなどのリサーチを行うことができました。

今後も定期的に出店を行う予定ですが、今回の販売に参加した寮生が3名と、毎回参加者が固定されつつあることから、メビウス全体の活動として、誰もが参加しやすい行事にする工夫が課題となりました。

2. freeva(フリーバ)川戸 クリスマス・イベント



フリーバ川戸は千葉市中央区川戸町に12月1日にオープンした精神障害者のグループホームで、12月18日（日）に地域住民との交流を目的としたクリスマス・イベントに招待され、出店しました。

今回は海苔の販売はせず、マスク・ストラップ、レジン細工、デコパージュ作品などを販売しました。小規模なイベントということで、売り上げはそれほど期待していなかったのですが、参加者の多くが福祉に関心がある方だったためか、マスク・ストラップの売り上げは53本とフリーマーケットの売り上げを上回り、レジン細工、デコパージュ作品などと合わせると、8,000円（80点）の売り上げとなりました。また、寮生の1人がサンタクロースの格好をして店頭立ち、売り上げに貢献してくれました。今後も機会があれば、フリーマーケット以外のイベントにも参加したいと思います。

メビウス千葉 動静報告。(2021年10月～12月)



10月

- 男性1名（大麻等）、退院、新規入寮。
- 出店参加予定だったフリーマーケットが雨のため中止。
- 男性1名（性犯罪）が盗撮で逮捕され、再入院。
- 男性1名、女性1名（共に覚醒剤）、情緒不安定なため再入院。
- 女性1名（病的窃盗）の実刑が確定。
- 女性1名（病的窃盗）、下総精神医療センターへの入院待ちだったため入院。

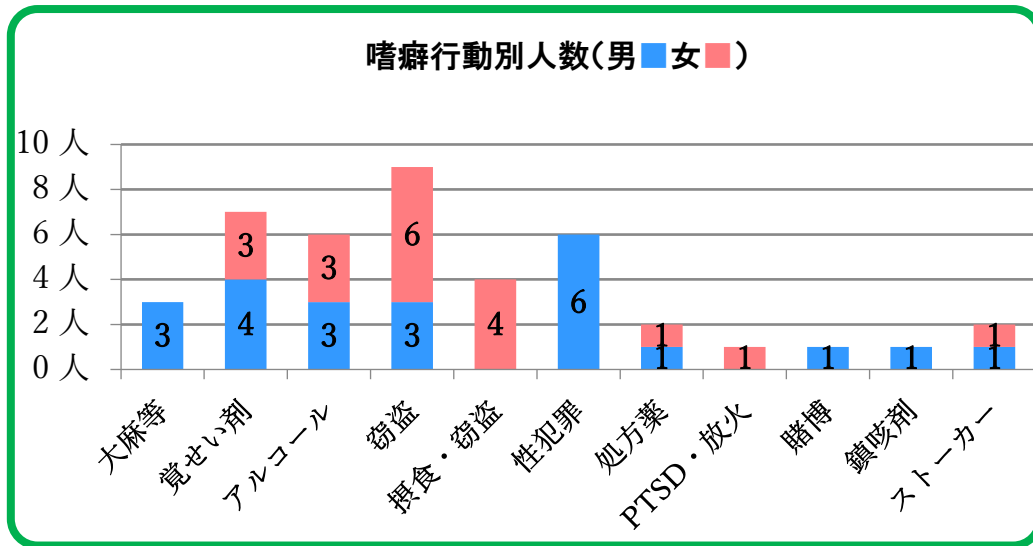
11月

- 女性1名（病的窃盗）、前回の入院の際、C R C Tプログラムが未完だったため再入院。
- 男性1名と女性1名（共に覚醒剤）、違法薬物使用のため再入院。
- 男性2名（性犯罪）、退院、新規入寮。
- 男性2名（処方薬使用障害、病的窃盗）、退院。
- 男性1名（病的窃盗及び鎮咳剤使用障害）が興奮状態となり本部内で暴れるも、後に冷静を取り戻し、職員らに謝罪する。
- 男性1名（処方薬使用障害）、体調不良を訴え、自ら救急搬送要請するも、特変は無く職員が連れ戻す。
- 令和2年度の総会開催。
- 男性1名（病的窃盗）、コンビニエンスストアにて万引き。職員と施設長が対応。情緒不安定のため、警察には通報されずに解放され、要経過観察となる。
- 女性1名（病的窃盗）、交通事故のため、千葉救急医療センターに緊急入院。数日後退院。

12月

- 男性1名（覚醒剤）、鈴木建設に就職。
- 男性1名（覚醒剤）、就職のため自主退寮。
- 女性1名（覚醒剤）、コンビニエンスストアにて万引き。後日、病的窃盗として再入院。
- 女性1名（P T S D）、喘息発作で救急搬送されるも、病院での点滴により回復し帰寮する。
- 男性1名（性犯罪）、一時的に退院するも、裁判所の許可が下りず、後日再入院。
- 男性1名（性犯罪）、女性3名（病的窃盗、処方薬使用障害、ストーカー）下総精神医療センター退院・新規入寮。
- 男性1名（大麻等）がパチスロ店で他客のメダルを盗み、店から出入禁止処分となる。
- 男性1名（性犯罪）、女性3名（病的窃盗2名、覚醒剤1名）退院。
- 女性1名（病的窃盗）、不調を訴え再入院。

2021年12月末現在 在籍者数 男性23名 女性20名 計43名



相談支援事業所メビウス 動静報告。(2021年10月～12月)

2021年12月31日時点の登録者数は9名。その内、障害福祉サービスを利用しているのは1名のみですが、『ゆうきのまち』見学者の内、3～4名が2022年1月から利用開始予定です。

また、2021年12月に契約した外部からの1名は、利用先は決まっているものの、自立支援医療受給者証が無いので、2022年1月中に取得した後、利用申請する予定です。

10月

- 1名（メビウス千葉入寮者）、契約。
- 1名、『ワークショップ兼取』見学同行。
- 3名、モニタリング。

11月

- 3名、モニタリング。

12月

- 1名（外部から）、契約。
- 6名、『ゆうきのまち』見学同行。



寄付金のご協力をお願いします。



メビウス千葉は、『千葉まちづくり応援寄附金』の対象団体となっております。

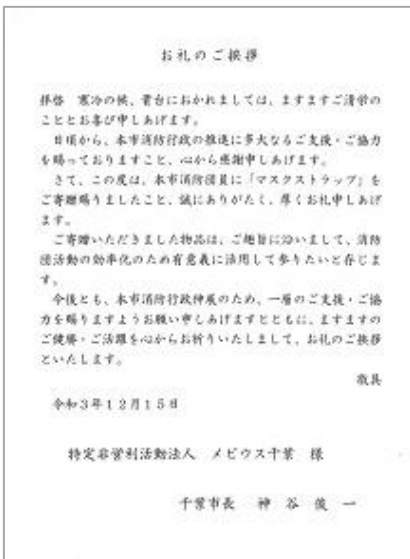
千葉市まちづくり応援寄附金制度とは、『一定の要件を満たした対象団体の中から、応援したい団体を指定して寄附ができる千葉市の新しい制度です。「まち寄附」は、ふるさと納税制度による税控除を受けることができるので、まちづくり団体へ気軽に寄附をすることができます。』（※下記ホームページより）

千葉まちづくり応援寄附金 ホームページ

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/machikifu-top.html>

なお、2022（令和4）年の3月1日から末日までの間は、行政の決算の都合により寄付をすることができないので、悪しからずご了承ください。

マスク・ストラップを千葉市消防団に寄贈しました。



メビウスの作業療法プログラムで制作しているマスク・ストラップ730本を、千葉市消防団に寄贈しました。

画像は千葉市長からのお礼状です。このように形として感謝していただけると、制作に携わっている寮生たちのモチベーションのアップに繋がります。

今後もフリーマーケットやイベントでの出品だけではなく、このような寄付という活かし方もあるということ念頭に置き、制作により邁進したいと思います。



ありがとう！

マネキンを用いた性犯罪の疑似を開始します。

今後、メビウス千葉では、性犯罪への条件反射制御法の維持作業の効果を高めるため、マネキンを使った疑似を開始する予定です。具体的には盗撮と接触の疑似です。それぞれのマニュアルは以下の通りです。

【盗撮編】

①シチュエーションの設定…バス停、百貨店、スーパーなど、本人の経験から設定する。②部屋に入り、対象（マネキン）の後ろに立つ（並ぶ）。③スマホで動画または写真を撮影。④部屋から出る。⑤自室で画像を再生。⑥制御の刺激。

【タッチ(痴漢)編】

①シチュエーションの設定…道路、バス、電車エレベーターなど、本人の経験から設定する。②部屋に入り、対象（マネキン）の後ろに立つ（並ぶ）。③胸や尻などに触れる。④逃走する（本人の経験による）。⑤部屋から出る。⑥制御の刺激。

この3カ月を振り返って。



この3カ月は、新型コロナウイルスの感染も落ち着き、日中活動などに通う寮生たちの姿が見られました。日中活動の充実感、少なからず再犯防止にも役立つと考えられます。暇を持て余していると、刺激を求めてよからぬ活動の方へ気が向いてしまうこともあるようです。この3カ月の間にも、何件かの再発がありました。条件反射制御法の維持作業によって、欲求を低減させることができますが、そもそも「何故その行動をしてはいけないのか」という理解が難しい寮生がおり、心理教育的な関りも必要と感じられました。

また、社会内疑似の同行や買い物同行の人数が増えたため、一日に多くの時間がかかり、どのタイミングで単独の疑似や買い物に移行できるのかという課題があります。

今後は2022年春から大網白里市小西で農作業（稲作）を行う予定です。治療の継続と日中活動の支援という両面から、今後も活動を続けて参ります。